



これは  
呪われた子が



救いを求める  
物語……

花実





「リリ」は...

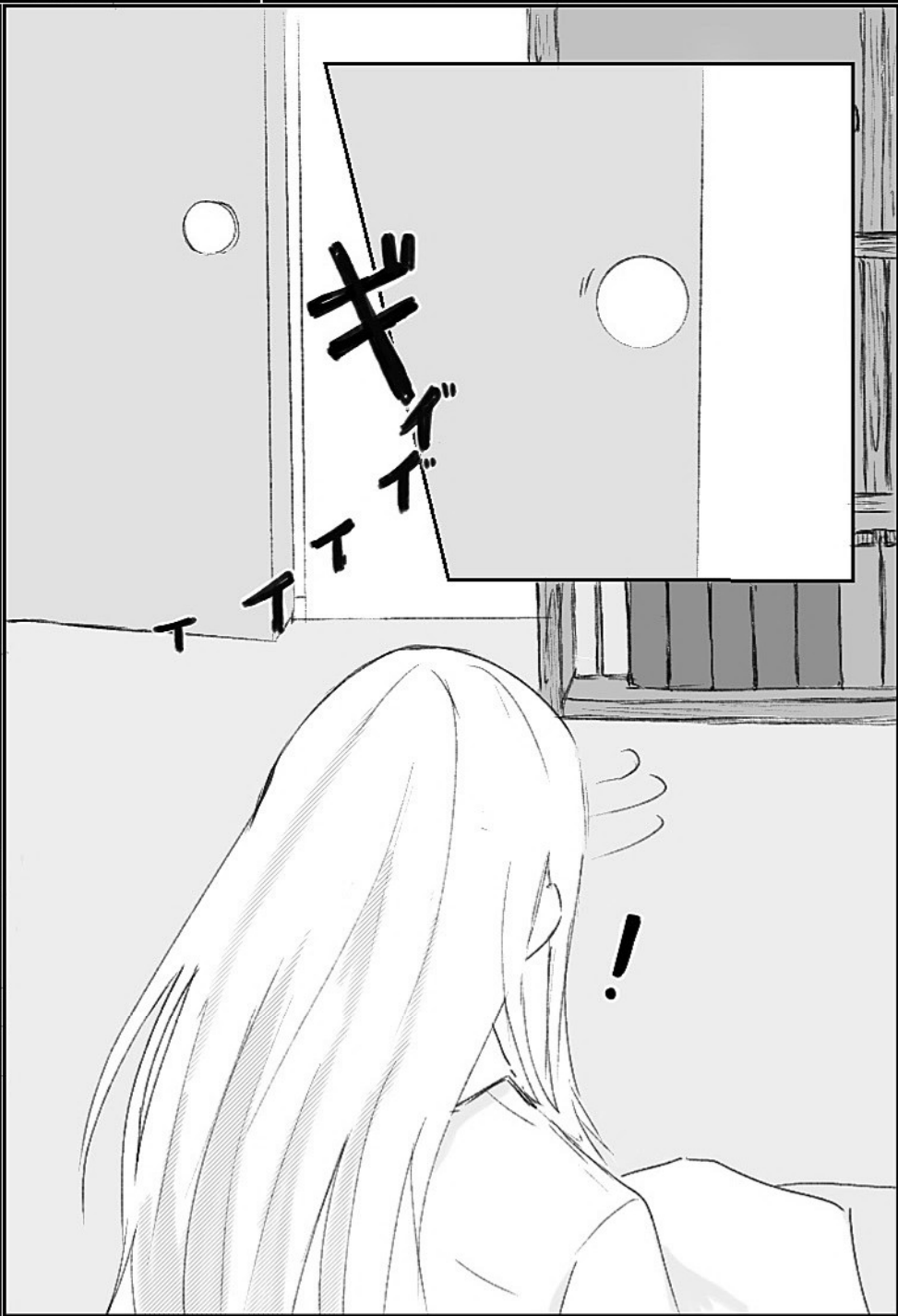
僕は崖から  
落ちたはず...



パチッ



あ、  
起きたんだ



ギイイイ

!

君は崖の下に  
落ちてた

俺は薬師だから  
君の治療して面倒みてた

白帯変えるから  
手出して



…ザード

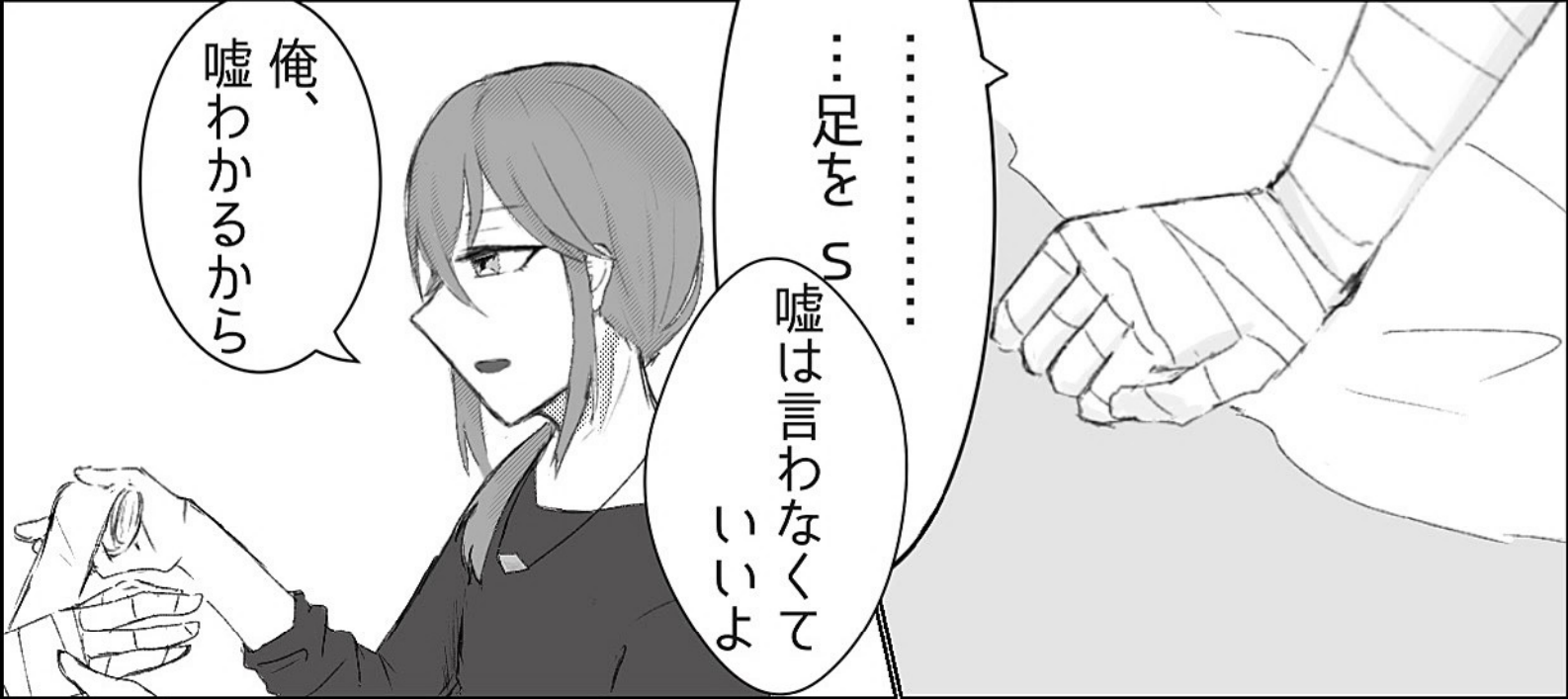
俺はワートル  
君は？

さて、



なんで崖から  
落ちたの？





俺、  
嘘わかるから

……足を  
嘘は言わなくて  
いいよ

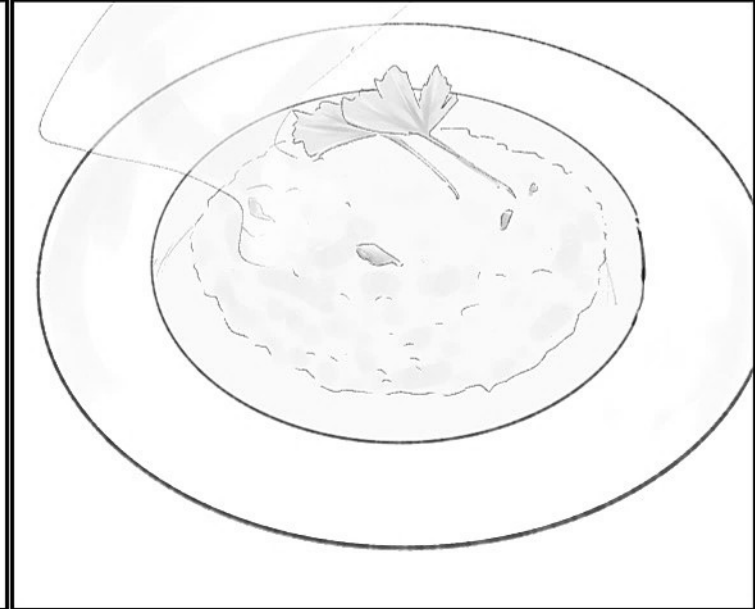


っ……

まあ嫌なら言わなくて  
いいよ、  
俺は君を治すまで  
追い出すつもりはないから



終わり、  
ご飯持ってくるよ。  
そのタオルで  
体拭いといて

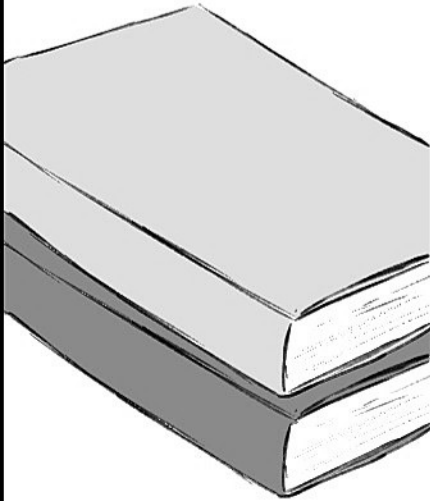


…む、昔  
ある村に






薬師の息子が  
いました



その少年は  
知識をつけるのが  
好きでした



毎日のように  
図書館に  
行っていたが

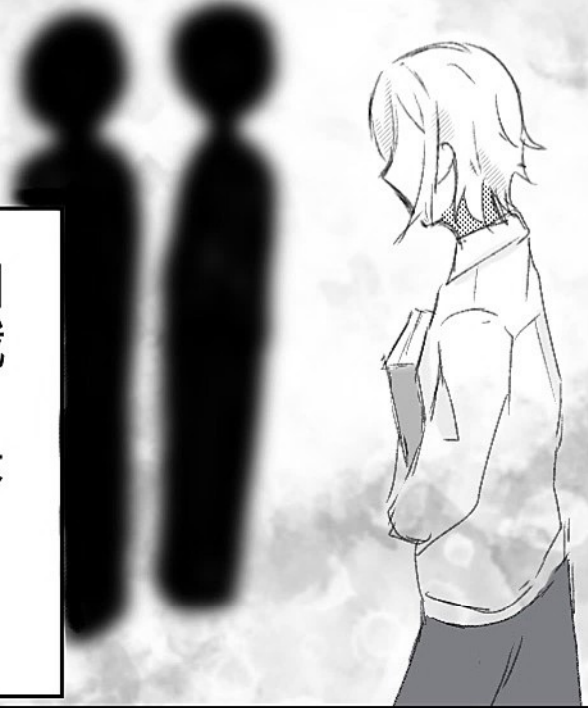


ある本を読んだ瞬間  
少年は“呪われた”



ひり

ひり

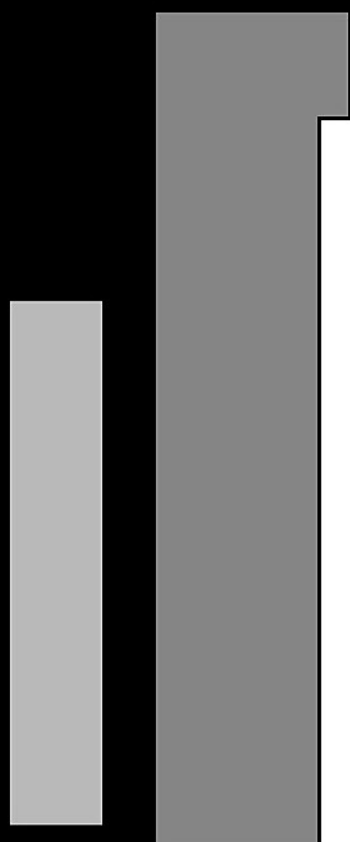


知識を失う  
代わりに色素を  
抜かれた  
それから少年は  
異端として  
見られる  
こととなった


通称  
「呪懸本」



読者の望む野望を  
与える対価に  
何かが奪われると  
言う  
呪いの本であった



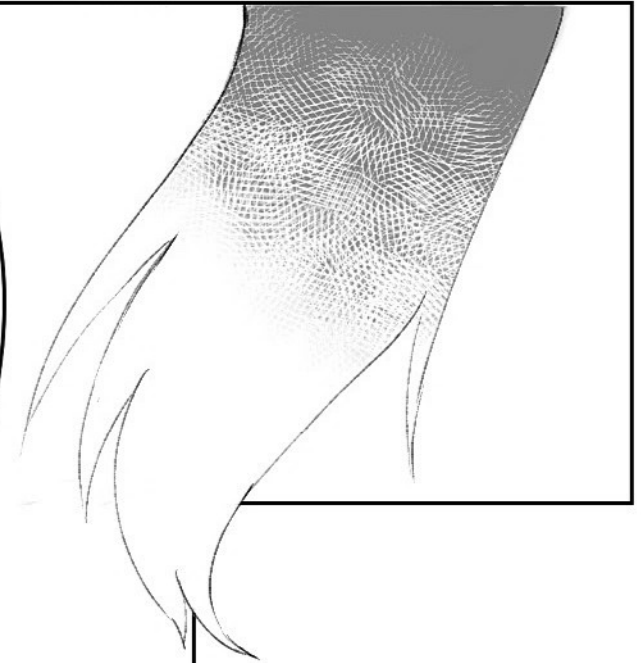




それを読んだ僕は  
民族の証の色を  
失くした



紺の髪は白くなり、  
青い眼は赤くなった

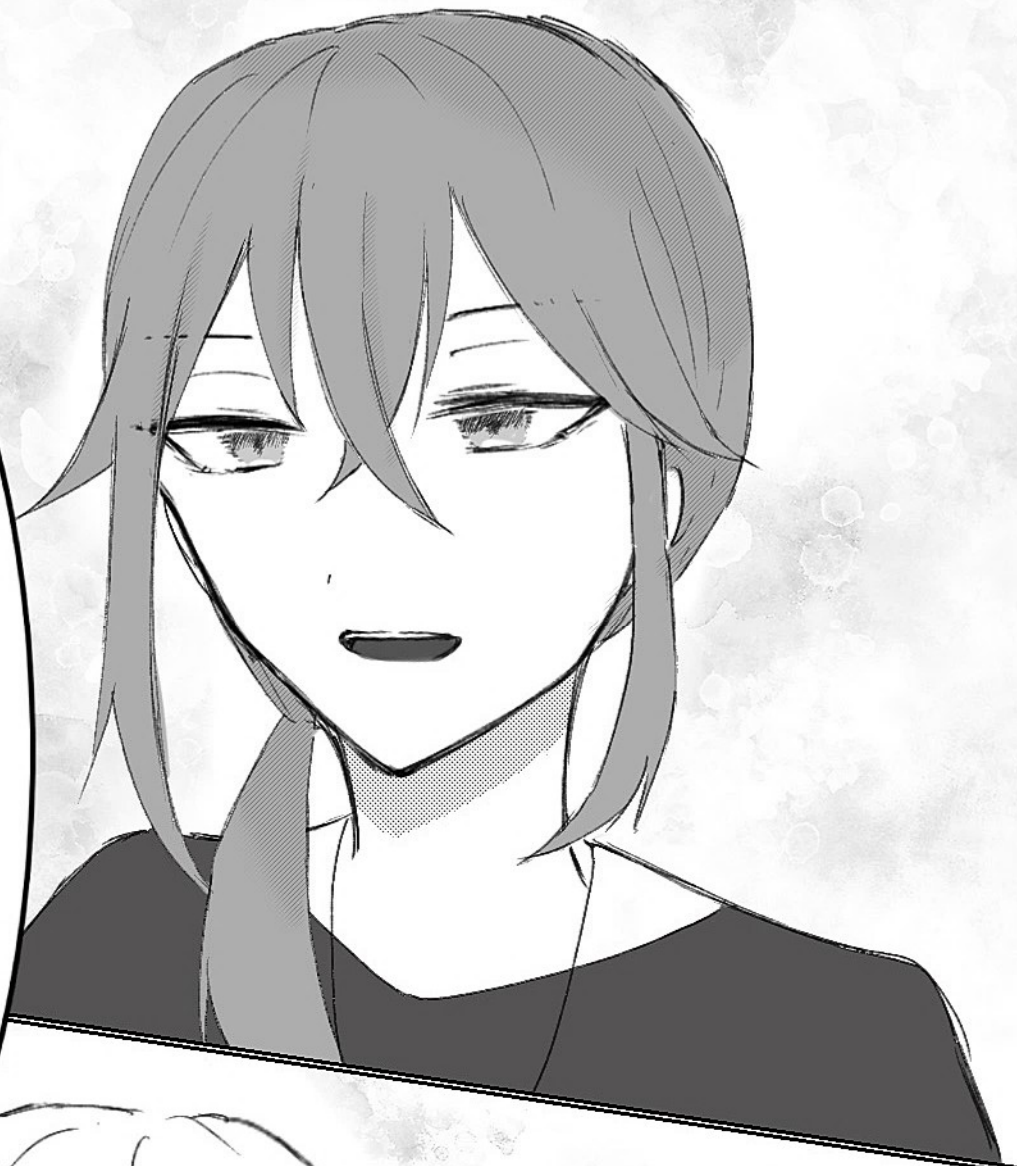


村から追い出され  
僕のが嫌いだ  
村人に突き落とされた





俺のところに来ない？



あれから僕は  
ワートルの店で  
働くことになった



僕の知識を貸して欲しい  
と言われいろいろ  
手助けをしてきた。  
僕もここに慣れてきていた



だけど  
気になるのは

カルテ  
持ってきたよん、

ありがとう

あの時の顔

何を堪えているんだろう





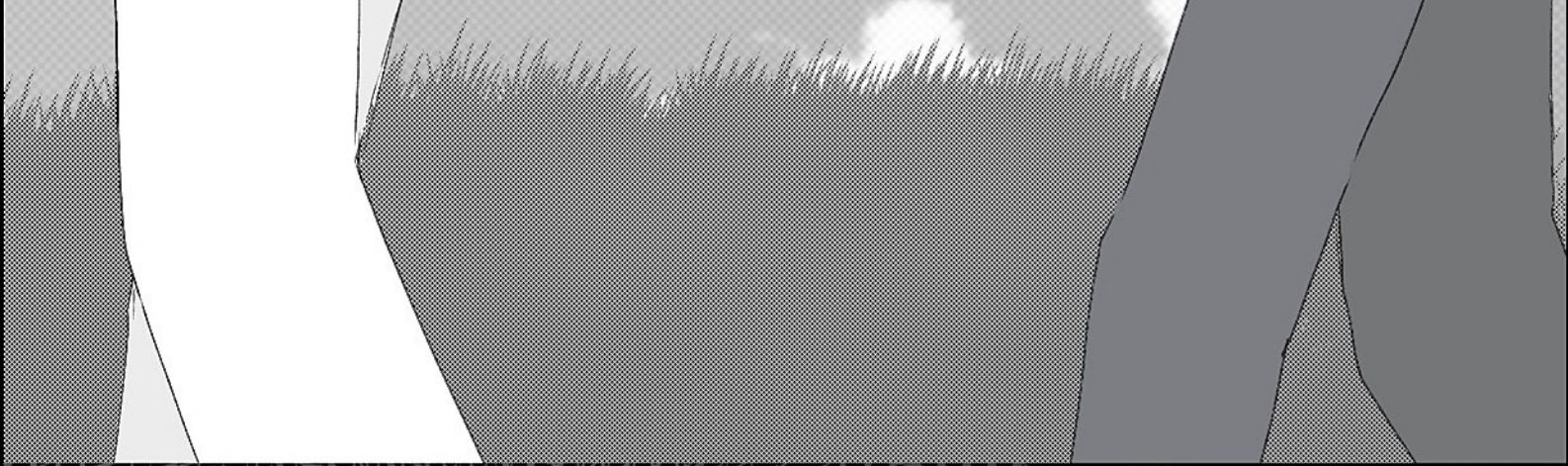
明日、  
出かけるから  
準備しといて



明日？  
…わかった



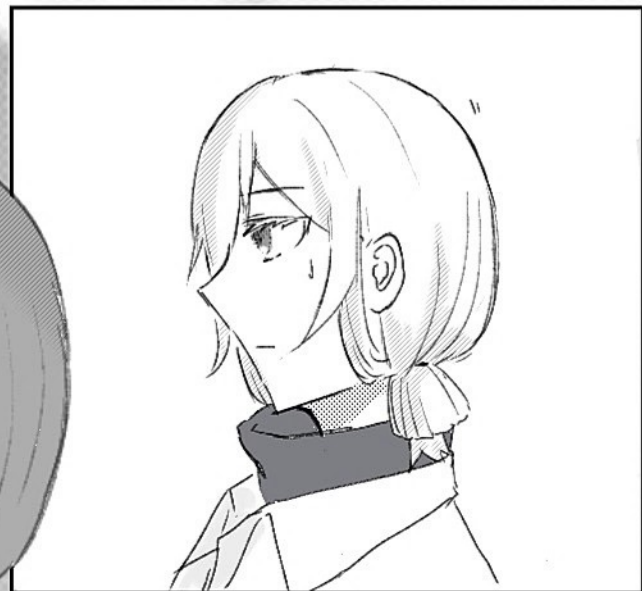
また、その顔だ…



Illegible text on a sign, possibly including the words "R", "3", "3", and "3".

R  
3  
3  
3

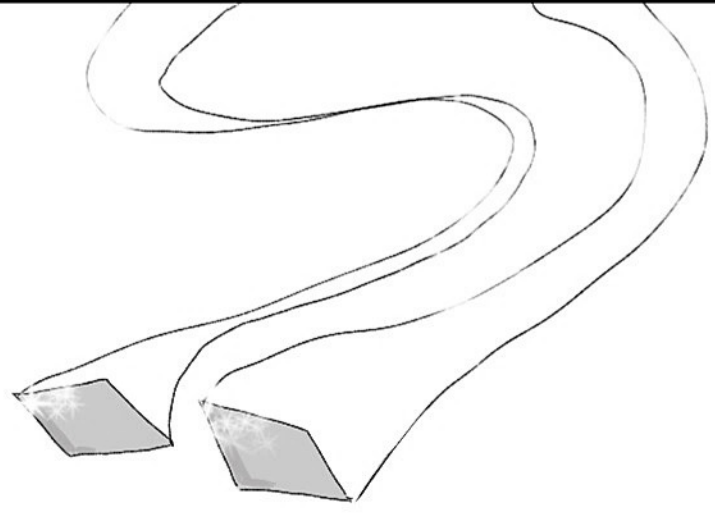
今日、妹の命日なんだ



死ぬ前、立派な薬師になるって約束したんだ…








俺のネックレスも  
妹がうまくいきます  
ようにって  
一緒に働く人にも  
って2コ作って  
くれたんだ

ねえ、ザード



このネックレス  
貰ってくれる？



そんなの  
あたりまえ



僕はワートルに助けて  
もらったし今は楽しいと  
思ってるんだよ

泣かない泣かない

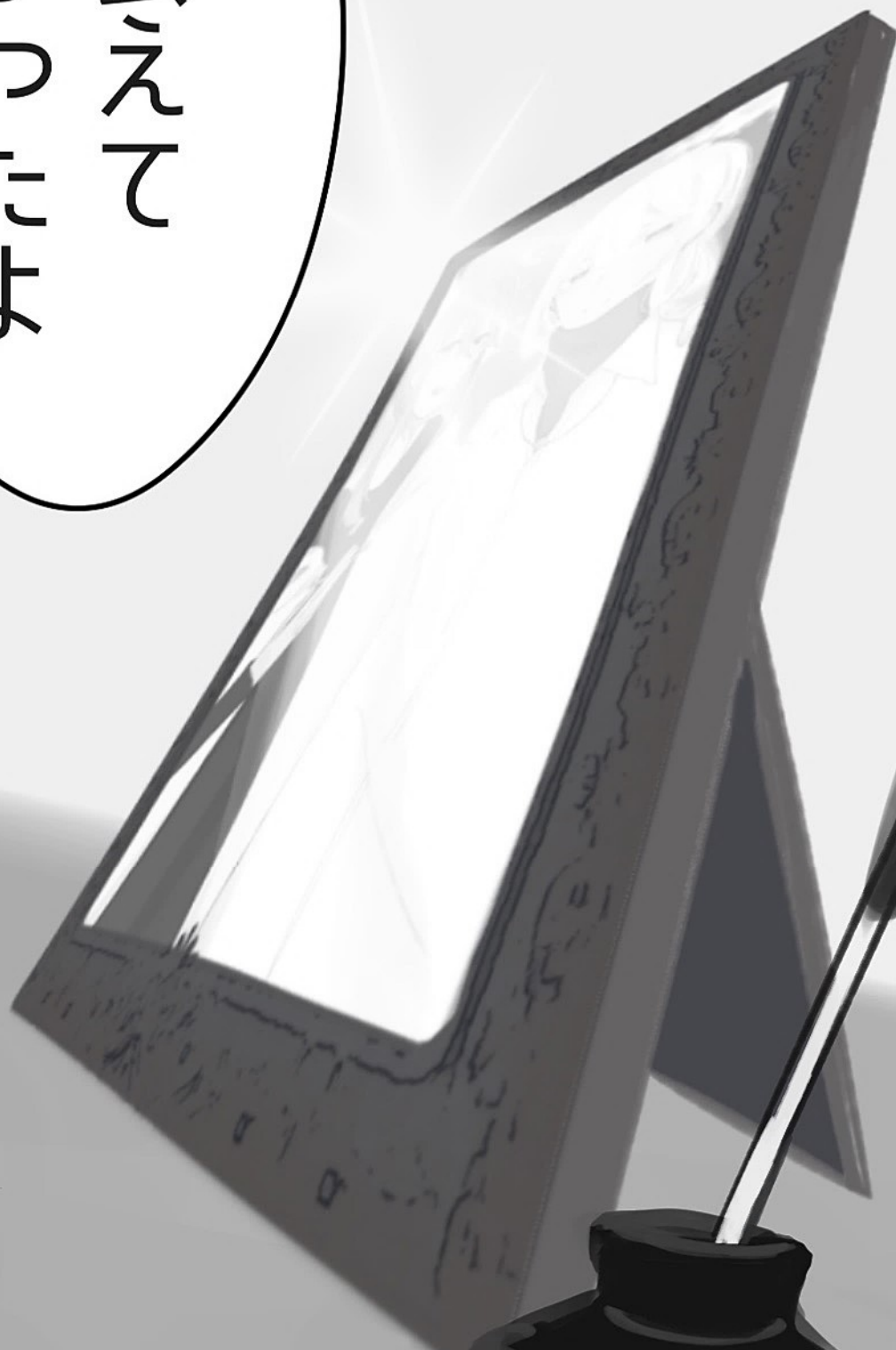


ニッ



本当僕たち、  
最初とは変わったよね  
でも…

出会えて  
よかったよ



fin.

# あとがき

今回初めてデジタルでの漫画創作に挑戦しました。デジタルは便利な面も使い慣れないものもあり難しかったです。でも楽しく作ることができました！

(ザード、ワーテルはオランダ語です！興味があれば調べてみてください！)

制作途中に体調を崩してしまい、最後の方を急いで制作したため展開が急になってしまいました…

最後まで読んでいただきありがとうございました！

